

授業科目 吃音

【担当教員名】		対象学年	3	対象学科	言語
渡 辺 時 生		開講時期	前期	必修・選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【概要・一般目標：G10】 吃音の基礎知識を身につける。 吃音の評価、診断、治療を修得する。 吃音者の困難や心理を理解し、適切な援助を考える。					
【学習目標・行動目標：SB0】 1. 吃音の定義、発生、症状など基礎知識について説明できる。 2. 吃音症状の進展、可変性、重症度について説明できる。 3. 吃音検査法（日本音声言語医学会版）を実施できる。 4. 吃音治療の概要について説明し、適切な治療法を選択できる。 5. 間接的言語訓練について、適応・方法を説明、実施できる。 6. 直接的言語訓練について、適応・方法を説明、実施できる。 7. 吃音事例を通じ、実際の治療、援助において必要な事柄を説明できる。 8. 吃音者のセルフ・グループ活動について理解し、連携を実践できる。					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	吃音の基礎知識、吃音サンプル聴取			1	講義、演習
2	吃音の定義・発生メカニズムなど			1	講義
3	吃音症状分類			1	講義
4	吃音の鑑別・進展段階・重症度など			2	講義
5	吃音の評価・診断・治療の概要			3・4	講義
6	幼児吃音(1)評価、診断を中心に			4・5	講義
7	幼児吃音(2)環境調整法、遊戯療法			5	講義
8	幼児吃音(3)事例研究			5・7	講義
9	学童吃音(1)評価、診断、治療の概要			5・6	講義
10	学童吃音(2)事例研究			6・7	講義
11	小児（幼児・学童）のまとめ			4	講義
12	成人吃音(1)流暢性形成法			6・7	講義
13	成人吃音(2)吃音緩和法			6・7	講義
14	吃音セルフヘルプグループについて			7・8	演習・討議
15	まとめ				
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		改訂 言語聴覚療法シリーズ13吃音	都築澄夫編著	建帛社	2005・2,625円
		吃音の基礎と臨床 コミュニケーション障害の臨床(2)	バリー・ギター著 日本聴能言語士協会 日本聴能言語士協会	学苑社 協同医書出版	2007・7,980円 2001・3,150円
その他の資料					
【評価方法】 レポート 期末試験			【履修上の留意点】		